



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：私たちの未来は、今日より始まる
アジア地域会長主題：ワイズ運動を尊重しよう
東日本区理事主題：明日に向かって、今日動こう
あずさ部長主題：あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！
甲府クラブ会長主題：楽しみながら広げよう、ワイズの心

Joan Wilson (カナダ)
Tung Ming Hsiao (台湾)
利根川 恵子 (川越)
浅羽俊一郎 (東京山手)
丹後 佳代

甲府クラブ
2016年8月会報
●今月の強調目標
C S

■今月のことば■

小倉恵一会員選

命を愛し、幸せな日々を過ごしたい人は、舌を制して、悪を言わず、唇を閉じて、偽りを語らず、悪から遠ざかり、善を行い、平和を願って、これを追い求めよ。 ペテロ第1の手紙 第3章10節から11節

◆◆◆ 巻頭言 ◆◆◆

2016年は史上最も暑い年になる

会長 丹後佳代

キップオフ例会も無事に終わり、いよいよ新しい年度が始まりました。そんな今年は「史上最も暑い年になる」とNASAの気象学者が警告したそうです。NASAによると、4月の世界の気温と海水温が観測史上最高を記録したことを発表しました。NASAの気象学者ギャビン・シュミット博士は5月14日、「4月の観測結果からすると99%の確率で2016年は観測史上最高になる」と指摘したとのこと。梅雨にはあまり雨が降らず、長引きました。しかし、暑い日が続いていますね。

今月は、納涼例会です。今までの忙しさから、ちょっと一休みして楽しんでいただきたいと思います。また、暑さも吹き飛ばせたらと思います。会員同士交流し、「知る」機会にもしていただきたいと思います。私自身がそうなのですが、ワイズの皆さんのことを知れば知るほど、ワイズの活動が楽しくなりました。また、「知る」ことによって、それぞれ皆さんの素晴らしさを改めて実感することにもなりました。そのためにもこの納涼例会はとても良い機会だと思います。

今年1年、甲府クラブが、熱い活動ができるようになるためにも会員同士が交流を深め、楽しめる場にしていきましょう！

8月納涼例会

日時：2016年8月9日(火) 18:45～20:45

会場：談露館

担当：クラブサービス委員会 司会：荒川洋一会員

会費：メン 3,000円 ネット 2,000円

プログラム

第1部

- ・開会点鐘 丹後佳代会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶 丹後佳代会長
- ・今月の言葉 小倉恵一会員
- ・シニアキャンプPR 東京むかでクラブ 土井宏二会長
- ・諸報告 (秋山年度褒賞他)
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー

第2部

東日本区理事年度、あずさ部部長年度、秋山会長年度の終了を祝して納涼例会 (前年度慰労会)

- ・乾杯 秋山仁博直前会長
- ～～ 食事 ～～
- ・仙洞田会員による東日本区の1年(パワーポイント)
- ・渡辺直前理事による活動報告
- ・標直前部長による活動報告
- ・甲府ワイズの歌
- ・閉会点鐘 丹後佳代会長

7月のデータ

| | | | | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|------|-----|----------|----|---------|-----|
| 会員数 | 38名 | 例会出席 | 28名 | メネット | 1名 | 出席率 | 74% |
| ゲスト | 露木和雄様 (小倉会員紹介、キャンディデイト) | | | ニコニコボックス | | 11,345円 | |
| ビジター | 3名 浅羽俊一郎あずさ部長 [公式訪問] (東京山手クラブ) | | | | | | |
| 小山久恵あずさ部書記・小山憲彦メン (東京サンライズクラブ) | | | | | | | |

7月例会(総会)報告

7月12日火曜日、いつもの談露館で、キックオフ例会が開催された。まず、秋山直前会長の開会点鐘ならびに退任挨拶。「夢をつなごう」というテーマは、今後もつないでいてほしい。縦につないで歴史となり、横につないで仲間となる。そして、チャンス(よい機会)とチェンジ(交替)が合わるとチャレンジ(挑戦)になる。まさに年度の変わり目こそチャレンジの時、という含蓄のある退任の辞であった。

そして点鐘に用いる槌とバッジの交換が行われ、新会長の挨拶となった。昨年度は区理事、部長と忙しかったへんな年だった。今年は楽しみ、癒しつつ活動したい。よろしくご協力をお願いする、と細やかな気遣いのある挨拶だった。



公式訪問の浅羽俊一郎あずさ部長の挨拶。「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ!」という主題を挙げた



が、そのためにあずさ部各クラブでも、会員の特技・人脈を発掘してほしい。山手クラブも高齢化が進み、どうしても内向きの活動になりがち。外に目を向けよう。クラブとしてのアイデンティティとともにあずさ部

のアイデンティティも感じられるようにしたい、と前向きに述べていただいた。

今月の言葉は田中司郎会員。イエスの言葉は年を取ると身に染みってくる。ところで、バッジの交換があったが、会長だけでなく会員の皆さんもバッジをつけようと、あずさ部長のアイデンティティに同調する呼びかけがあった。その後いつものディナー。

ディナー後は総会で、第一部の前年度の事業報告、会計報告等が行われた。会計は事前に配布された表と別に訂正されたものが配布され、鈴木会員から会計監査を先ほどうす



ませた旨の報告があった。また、新年度の事業計画では、今年度の特別な事業として、会長から、石巻の公園へ神代桜の苗木を送るという提案があり、承認された。

田草川会員からYWCAの行事に関する案内、大澤会員から映画「希望の鐘」に関する案内、内藤会員から北口の「サマー・イン甲府」の案内等があった。(石川博)

7月役員会報告

◎7月26日(火) 18:30~20:30 山梨YMCA

◎出席者 丹後、標、神山、小倉、秋山、荒川、仙洞田、渡辺隆、石川博

【報告事項】

○7月例会(総会)について……1ページ及び左参照

○第一回あずさ部評議会の報告……3ページ参照

○「東京多摩みなみクラブ」のチャーターナイト、東京西クラブ創立40周年記念例会報告……4ページ参照

○その他……(会長より)今年からクラブ会長がYMCAの常議員になった。常議員会報告は5ページ参照。

【協議事項】

○8月納涼例会について……内容を協議。1ページ参照。

・露木和雄様には、8月例会にゲストで出席してもらい、入会式は本人の意思確認の上、9月例会に行くことを了承(規定通り、二回出席してから役員会にかける)。

○9月例会について……担当者欠席のため次回へ。

○富士山クリーン作戦について……8月6日のクリーン作戦に4名の申し込みがあったが、全体の参加人数が多く、定員を大幅に超えたため今年度は参加できない。

○ふくろうキャンプ協力について……YMCAからの要請と仲澤地域奉仕委員長の都合により、当初の20日(土)から、19日(金)の午後に変更。

○行事への参加確認

・国際大会(台北:8/4~8/7)へは渡辺(隆)会員が参加。

○その他……退会した石塚会員については、平原会員の意向も踏まえ、翻意を促し再入会につなげたい。(標)

あずさ部なないろ評議会

2016年7月16日土曜日に中野サンプラザにおいて、午前11時から東京武蔵野多摩クラブがホストクラブで浅羽部長の第一回あずさ部評議会が開催されました。

板村会員の司会で浅羽部長の開会点鐘、ワイズソング、聖書朗読と祈禱を伊佐会員がおこない、ホストクラブ山口会長から、歓迎の挨拶があり評議会にうつりました。

評議会は小山久恵あずさ部書記の司会で評議会成立宣言を浅羽部長がおこない（出席者36名委任状12名）議案審議に入りました。議案は2015-2016年度の会計決算報告とその監査報告で、決算報告は甲府クラブ会員、直前あずさ部会計の小倉会員からあり、監査報告はあずさ部松村監事よりあり、その二つの議案は満場一致で承認されました。小倉さんお疲れさまでした。

次に東日本区役員報告が浅羽部長と久保田東日本区監事からあり、利根川理事の東日本区の活動方針などの説明がありました。そして、定款見直し委員会の内容発表が小倉さんからあり、委員長を辻会員（横浜つづき）、副委員長を小倉会員（甲府クラブ）で定款改定委員会として活動する旨と、各部代表を早急に決めて7月30日に第一回委員会を開くことの話がありました。あずさ部代表については浅羽部長に一任となりました。また甲府クラブからは渡辺（隆）直前理事、仙洞田両会員も委員として加わります。

直前部長の挨拶では、一年間のご協力感謝し、あずさ部全クラブの協力あって国際・交流事業でTOF、RBM全クラブ達成賞、とRBM特別賞をいただいた発表がありました。

部長・事業主査・クラブ会長所信表明はあずさ部部報1号に掲載されている内容を簡潔に発表され、評議会が終了。閉会式で監事講評、YMCAの歌、浅羽部長の閉会点鐘がありました。その中で、評議会名「なないろ」について「もちろん虹の意味もありますが、開催日の7月16日が一番です」と、山口会長から説明されました。

写真撮影をおこない、会を終えました。甲府クラブの参加者は、秋山、小倉、標、丹後、Pマウントフォード、小倉メネット（標克明）



石巻広域ワイズメンズクラブ

チャーターナイト報告

去る5月28日（土）に開催された「石巻広域ワイズメンズクラブ」のチャーターナイト（国際協会加盟認証状伝達式）に、渡辺隆理事、主人と共に出席してまいりました。

5年前の東日本大震災（3・11）時の東京YMCAの復興支援活動を契機として、仙台YMCAや仙台的3ワイズメンズクラブとの関わりの中で設立された、東日本区で61番目のクラブです。設立メンバーは、甲府クラブとも縁のある仙台青葉城クラブの清水弘一メン（元区理事）や元所沢クラブの関喜一郎メン（元区EMC委員長）も入って21名でのスタートです。

初代会長の平井孝次郎メンは、宮城県石巻の地酒「日高見」で有名な平孝酒造の会長で、復興支援活動にも当初から尽力された方だそうです。会長挨拶で「聖書でルカは・・・」と話されたのでクリスチャンかな？ と思っていたのですが、祝会で『隠退教師』と伺って驚きました。

また、祝会では名古屋グランパスクラブの吉田一誠メン（東西に分かれる直前の日本区理事）や京都ウエストクラブの森田恵三（元日本区理事）ご夫妻とご一緒させて頂いて、甲府クラブの布能寿英メンや平原貞美メン等との交流話を拝聴する機会を得た事も喜びでした。改めて甲府クラブの歴史（重み）を感じました。

北東部のメネットの皆様とも再会できた楽しいチャーターナイトでした。感謝。（メネット 小倉香苗）



東京西クラブ 40 周年記念例会

7月16日(土)、東京西クラブの40周年記念例会と祝会が開催されました。会場は40年前のチャーターナイトと同じ、中央線中野駅北口の「中野サンプラザ」です。

第1部の記念例会のメインは、元ラグーマン(早稲田→サントリー)で、現在人財育成コンサルタントとして活躍している、今泉清(いまいずみきよし)氏の「ラグビーのリーダーシップ、チームワーク、ポジティブ思考」というテーマの記念講演でした。「今、一番旬のスポーツは?」という問いから導かれた講師の選定は、実に的を射たものでした。“元祖ルーティーン”誕生秘話から始まった講演は、文字通り現役時代の華麗なステップを彷彿させる、テンポの良い語りにユーモアを交え、聴く者を飽きさせない見事なプレゼンテーションでした。

フロアを移しての第2部の記念祝会は、スポンサークラブやIBC、DBCの代表の祝辞に始まり、東京西クラブが支援している、東京YMCA国際ホテル専門学校生への奨学金贈呈、また、懐かしい「南東部の歌」の歌唱などが賑やかに行われ、約140名の参加者がこの日を祝しました。



甲府クラブからの参加者は、丹後会長・秋山・小倉夫妻・標・仙洞田の6名、登録費は7,000円でした。

なお、当日配布された、「WHOが勧めるウォーキングコース197」は、1997年から始まり今年200回目を迎える、東京西クラブの“健康+文化”事業「WHO(ウォーキング・ホリデー・オギクボ)」の貴重な記録集で、またウォーキングのガイド本としても優れたものです。このWHOには私も9年前に一度参加したことがあり、山梨在住でなかったら、毎回参加できるのにと、羨んだことを思い出しました。(仙洞田)

東京多摩みなみワイズメンズクラブ

チャーターナイト報告

去る5月22日(日)に設立された「東京多摩みなみワイズメンズクラブ」が、ワイズメンズクラブ国際協会の認証を受けて、7月17日(日)にチャーターナイト(国際協会加盟認証状伝達式)を開催しました。

これからの活動拠点(例会場)になる多摩市弦巻の「コンティ多摩センター」(キティちゃんのピューロランドがある賑やかな街で、JR中央線の立川から多摩モノレールで23分の多摩センター駅下車)で、東西日本区から101名が集う中で第1部伝達式と第2部祝会が盛大に挙行されました。



スポンサークラブは「東新部」の東京まちだクラブと東京コスモスクラブですが、協力クラブとして「あずさ部」の東京武蔵野多摩クラブと東京八王子クラブも紹介され、部を超えた東日本区の願いとして祝福されて誕生した、区では現状62番目のクラブです。東京クラブの田中博之メン(元区理事)と東京コスモスクラブの伊藤幾夫メン(区LT委員長)も入って15名での船出です。東新部になりますが、憶えて成長を祈念しましょう。甲府クラブからは私とメネットが出席しました。(小倉)

北口情報

甲府駅北口まちづくり委員会から

7月には「ラ・ロの会」の皆さん等を招き、バラの感謝祭を開催しました。一年間一所懸命に育てた成果が出ました。みごとなバラが咲き誇りました。

8月のイベント情報をお知らせします。

開催日 8月21日(日) 午前10時オープン
会場 甲府駅北口よっちゃばれ広場
イベント名 「サマーinこうふ」 and 中華フェスタ

テレビ等でおなじみの有名な中華の鉄人、陳建一先生が来ます。その他、目黒雅叙園のシェフなども同行し中華四大料理の競宴も行います。中国流の獅子舞、陳さんのトークや、総合司会を務める歌手の伸太郎さんの名司会も直に味わえます。ワイズの皆さん、中華を食べに北口にお越しください。(内藤)

第 177 回 山梨YMCA常議員会

に出席して 丹後佳代

7月19日(火)PM6:30～山梨YMCA 2階ホールで第177回常議員会が開かれました。今年度から甲府ワイズと甲府21ワイズの会長は常議員になることになりました。その理由は、山梨YMCAとワイズとの関係をより密接にするためとのことです。

ワイズ会長2名の他にも今年度から常議員として田草川さん他3名、監事として大和田さんの計7名が新たに加わりました。

常議員会は開会礼拝からはじまり、議事に移りました。事業報告、会計報告、チャリティーラン報告、将来検討委員会報告、理事会報告、総主事報告などが行われました。主な報告について紹介します。

- ・4～6月事業報告 ぶどうの木、プライムタイムともに好調である。
- ・4～6月会計報告 市の委託事業として、プライムタイムを行っているが、市からの委託料支払いが10月なので、それまでの資金として、300万円の短期借入れを行った。
- ・チャリティーラン報告 会場の大きさ等好評だった。アナウンサーもとても好評だった。細かい改善点はあるが、おおむね全体としてとても良い大会になった。
- ・将来計画 移転と建て替え両面から検討中、移転する場合の土地探しを現在行っている。移転の場合も建て替えの場合も新会館完成は平成31(2019)年度を目標としている。移転する場合の土地については、いろいろな場所を多くの方から情報が欲しい。
- ・夏期事業計画 夏休みわいわい地球塾、夏キャンプはとても好評で、プログラムによっては増設したものもある。常議員よりくれぐれも安全面に気をつけるようにとの意見があった。

決議事項、協議事項としては、①名誉会員規則案について ②夏期事業計画について ③その他、でした。

最後に閉会祈祷があり終了いたしました。

今まであまり、この常議員会の報告はブリテンに掲載されていなかったと思います。

しかし、参加して気づいたことは甲府ワイズとして、山梨YMCAの活動は知っておいた方が良いと感じました。今まで、支援はしてきましたが、あまり山梨YMCAの動きについては理解していなかったように思います。甲府ワイズの皆さんで、もし、もっと詳しく知りたいと思う方は、私に問い合わせただけたらと思います。



YMCA創立70年目の夏です。今年度は学童保育プライムタイムに甲府市の放課後児童クラブの子どもたちが合流し、夏休みに入っても毎日50人を超える子どもたちがYMCAを占拠して戦争状態です。そして、キャンプやわいわい地球塾には、はじめてYMCAの門をたたく子供たちも大勢集います。この子ども達がYMCAでの学び、出会い、体験を糧に、立派な大人に成長し、山梨の未来を、日本の平和を担ってくれるでしょう。

7月19日に第177回常議員会が開催されました。今回から大きくメンバーが入れ替わり、6名の新常議員が誕生しました。将来計画に合せて、障がい児支援、子育て支援、国際交流を専門分野とする方をお願いしています。また、今まで陪席という形で加わっていただいていた甲府ワイズの会長、甲府21ワイズの会長お二人にも、正式に常議員として議決権をもって参加いただくことになりました。女性が4名、平均年齢も若干若くなりました。初回から活発な議論が交わされ、これからのYMCAが楽しみです(露木)

7月19日に第177回常議員会が開催されました。今回から大きくメンバーが入れ替わり、6名の新常議員が誕生しました。将来計画に合せて、障がい児支援、子育て支援、国際交流を専門分野とする方をお願いしています。また、今まで陪席という形で加わっていただいていた甲府ワイズの会長、甲府21ワイズの会長お二人にも、正式に常議員として議決権をもって参加いただくことになりました。女性が4名、平均年齢も若干若くなりました。初回から活発な議論が交わされ、これからのYMCAが楽しみです(露木)



田草川会員 秋山さん一年間ご苦労様でした。丹後さん、よろしくお祈りします。

<無記名の、同様のメッセージがいくつかありました>

田中司郎会員 丹後丸の出航を祝して、無事帰港されんことを祈ります。

遠藤会員 丹後年度を発展を期して。

仙洞田会員 秋山さん一年間お疲れ様でした。丹後さん、これからの一年、期待しています。

秋山会員 丹後年度のスタートです。一年間、健康に気を付けて、我々をリードしてください。

丹後会長 いよいよスタート、良い一年にしていきたいと思います。

8月 Happy Birthday

| | | |
|------|-----------|-----------|
| メン | 荒川洋一(12日) | 渡辺徳之(12日) |
| | 石原祥平(14日) | |
| メネット | 中島雅子(12日) | |

8月 Wedding Anniversary

該当者なし

闘病生活に想う

—ワイズとの絆—

平原貞美

前回は伝統を受け継ぐ甲府クラブが障害児を主とする青少年を育む、山梨YMCA二大行事である「インターナショナル・チャリティーラン」と「バザー」に多大な貢献を果たしていることを記しました。そしてこれからの甲府クラブの地域でのあり方を考えるとき、札幌ワイズ60周年で記念講演された藤井寛敏元国際会長のテーマ、「ワイズの未来はある？ ない？」を併せ検討してみることになりました。

まず、甲府クラブが生みの親として、発足わずか6年目の長野クラブをホストとし、東日本区渡辺理事年度の総括的成果を問う、重要な東日本区大会のことを考察したい。長野で開催されたこの大会には、標あずさ部長、秋山会長をはじめとする多くの甲府クラブ、及び山梨長野のクラブが精力的に協力し、参加者に今までにない感動を与える大会となった要因は何であったのか。貴重な体験として、これからの甲府クラブの諸活動に生かす必要性を考えるべきではないでしょうか。

長野市は、天台宗と浄土宗によって支えられている善光寺の門前町として存在し、地域と一体となって1400年にわたって受け継がれ、繁栄してきた。本大会の特殊性は、市民にとって当たり前と思えるこのような独特な姿を見事なまでに大会の中に取り入れたことにあると思うのです。

それは、「平和のための祈り——ミサ長野」を演じた長野青少年少女合唱団の歌声に癒されるオープニングで始まりました。緊張したワイズのプログラムのあとに続く、長野プレゼンツ「ワイズにひかれ善光寺」は、長野クラブの福島副会長（善光寺玄証院住職）の解説での天台声明（客席後方から散華しながら僧が入場）が行われ、次いで長野郷土史研究会の母と息子による「善光寺参り絵解き」の口演で、善光寺を中心とした市民の生活を描いた掛け軸を見ながらの地域の紹介は、これまでになく新しいものでした。

そして楽しい晩餐会では無形文化財にも指定されている善光寺木遣り保存会の会場いっぱい響き渡る、静

寂と緊張に包まれた歌声（写真）。食前の感謝の祈りは、仏教の食事作法の文言を福島副会長のリードで朗誦するなど、自然に引き込まれる味わいは、まさに地域と密着したローカル色あふれる多くの感動を与えてくれた大会であったと思います。



もちろん、地元メディアは、誇らしい内容として大きく取り上げ、長野クラブへの期待を寄せる結果となり、国際奉仕団体としてのワイズの地方における力強さを示す格好の機会となったのです。

それだけに大会を単なるお祭り騒ぎで競うのではなく、地域のために、地域と力を併せ、楽しく長続きする奉仕活動を展開することを第一義と考え、行動するクラブとすることが、「ワイズに未来はある？」という問いに対する答えになるのではないのでしょうか。

東奔西走

- ・7月8日（金）第11回区定款見直しワーキングチーム会合（東京YMCA東陽町センター）に小倉メン出席
- ・7月9日（土）第1回区役員会（四谷）に渡辺隆メン、仙洞田メン、小倉メン出席
- ・7月16日（土）あずさ部評議会 3ページ参照
- ・7月16日（土）東京西クラブ40周年記念例会 4ページ参照
- ・7月17日（日）東京多摩みなみクラブチャーターナイト 4ページ参照
- ・7月30日（土）第1回区定款改訂委員会（四谷）に仙洞田メン、小倉メン出席

今後の予定

- 8月19日（金）ふくろうキャンプ手伝い（八ヶ岳）
入浴介助、すいか割等。参加できる方は、仲澤地域奉仕委員長に連絡してください。
- 8月23日（火）8月役員会（YMCA 18:30～）
- 9月13日（火）9月例会（談露館 18:45～）